

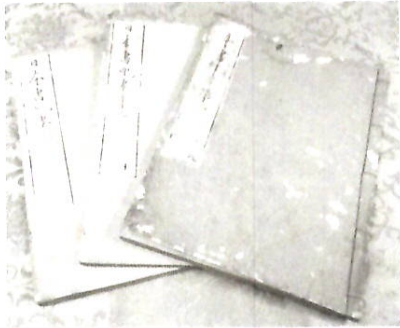
雲傳神道一流伝授のご案内

正法律根本道場新真言宗
総本山百済山長栄寺住職
同講伝所所長

上月明守

来たる平成三十年の慈雲尊者生誕三百年を記念して、尊者の法燈を学び後世に伝えるべく雲傳神道一流伝授ならびに雲傳神道灌頂を、尊者中興の高井田長栄寺において開筵開壇する運びとなりました。

雲傳神道とは、慈雲尊者が晩年、経年雑然とした小折紙の類聚に留まる三輪神道や御流神道を、原典に忠実な「日本



『日本記神代巻（慈雲尊者御書入本）』

紀折紙」を中心に再編、また神道伝授の内容の充実と刷新をはかり提唱したものであります。

この度、長栄寺同講伝所「雙龍之会」では、神道研究の中心地、伊勢の皇學館大学の博士号をお持ちであり、膨大な文献研究に裏打ちされた重厚な神道学の上に、神道祭式の実際にも精通し、現在、真言宗僧侶である、石野聖咒師を伝授大阿闍梨として招聘することとなりました。

同師は唯一神道垂加方に加え、雲傳血脉においては慈雲高弟の智幢法樹必芻（長栄寺住持）から智満阿遮梨（隨心院門跡・西加茂神光院住持）、勸修寺門跡の和田大圓（心鏡）和上、金田元成和尚（白毫寺住持）と

伝わる正統を継承されています。

神道の大祓や基礎知識「入門折紙」を授与される入門篇から始めて、本格的な「日本書紀」講義をとまなう「日本紀神代巻折紙」の講義篇、中世神道以来の秘傳部、両部神道に通用される神道灌頂儀礼の法則を学んだうえで実際に神道灌頂へ入壇する灌頂篇、さらには正伝に基づいた神道法具、神道行事壇ならびに八角護摩壇を調製のうえ神道事相まで伝授をしていただく予定です。

この勝縁に神道の初門より「雲傳」の真髓にふれていただければ幸甚に存じます。

伝授課程は全十四会、平成二十九年十月より毎月一会、午前十時〜午後五時（二時間講義×三回、昼食付き）。

日程詳細（予定）は左記。
【第一会】平成二十九年十月二日（月）、初重入門篇『大祓折紙私記』（「大祓」解説と実践）・『神道私記』（神道史概説）【第二会】平成二十九

年十一月六日（月）、初重入門篇『入門十二通聞書』・『雲傳神道大意（雲伝神道概説）』・『神道叢集（神道用語解説）』

【第三会】平成二十九年十二月四日（月）、二重講義篇『日本紀神代巻折紙』・『同聞書』

【開闢七代（八州起源）】【第四会】平成三十年一月、二重講義篇『日本紀神代巻折紙』・『同聞書』

【同聞書】「四神出生」「瑞珠盟約」【第五会】平成三十年二月、二重講義篇『日本紀神代巻折紙』・『同聞書』

【第六会】平成三十年三月、二重講義篇『日本紀神代巻折紙』・『同聞書』

【第七会】平成三十年四月、二重講義篇『日本紀神代巻折紙』

大阪 雲傳神道一流伝授 長栄寺 大阪府東大阪市高井田元町一丁目一の百済山長栄寺の講伝所「雙龍之会」(所長)上月明守師)では来る十月二日より同山において雲傳神道一流伝授・雲傳神道灌頂を開筵する。支具料は二十四万円(振込、

紙)『同聞書』「神皇紹運」『人皇本紀』【第八会】平成三十年五月、三重秘伝部『十種神宝聞書』【第九会】平成三十年六月三重秘伝部『四海領掌大事』(如法愛染法)【第十会】平成三十年七月上旬、

四重灌頂篇『神道灌頂清軌』等(神道灌頂の解説)【第十一会】平成三十年八月下旬、雲傳神道灌頂入壇(印信・血脉の附与)【第十二会】平成三十年九月、神道事相「神拝作法」「護身神法」「神道加行(神祇講式)」【第十三会】平成三十年十月、神道事相「十八神道」「宗源行法」【第十四会】

平成三十年十一月、神道事相「唯一神道大護摩(火祭行法)」

入金確認後に受領書発行を以て手続き完了)。資格は已灌頂者(応相談)。衣体は黒衣、如法衣(念珠)。申込方法は委細・詳細を申込書と併せて送付するので同講伝所(電話〇六・六七八・一〇七九七、メール Kodenchoei.ji@gmail.com)

へ。定員に達し次第締切。